

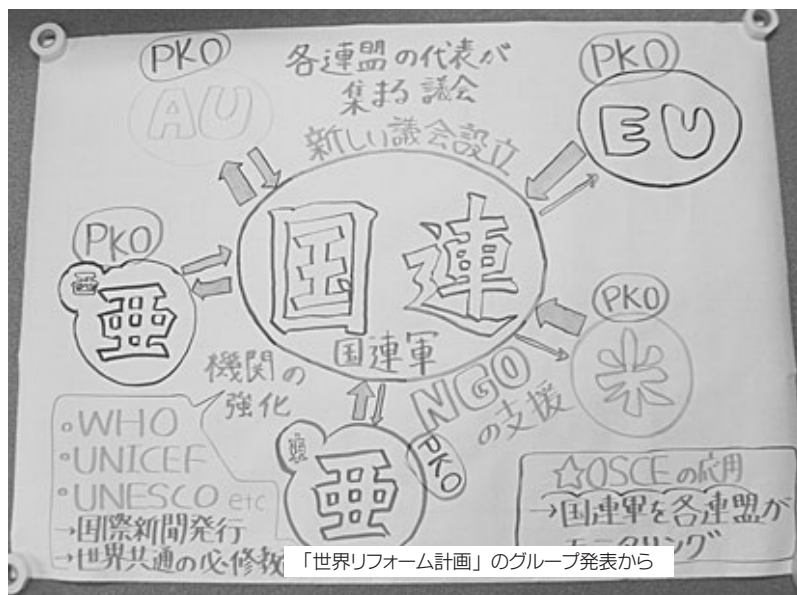
の授業を聴講させてもらうなど第一線の先生方にお教を頂くことができたのは貴重な機会でした。(滞在費がピンチになり、デュポン・サークルやベセスダの日本食店の格安定食を食べに通ったことが、懐かしい思い出です。) クリスマス・厳冬のニューヨークでは、平和教育の研究の世界的な拠点であるコロンビア大学ティーチャーズ・カレッジの先生方からも学ばせて頂くことができました。また、北米地域の平和学会への参加のためポートランドへ、カナダ・トロントの「行動で民主主義を学ぶ (Learning Democracy by Doing) 国際会議」へ、平和教育の実践者にお会いするためにコスタリカへ、と足を伸ばし、平和学をどのように高校での現場の教育に還元していくか、というヒントをたくさん頂きました。欧州平和大学 (オーストリア: 現在はスイスに所在) では世界各地からの熱心な学生たちに混じって、実際に平和の実践活動の専門家を養成する授業を、1学期の間、実地に学ばせてもらいました。(世界中に平和・調停の専門家を3万人養成することで、世界の紛争を根こそぎにするという計画が、いま進められています。) さらにガンジーの非暴力運動の発祥地・インドへ、悲惨なホロコーストの行われたアウシュビッツへ、伝統的な優れた和解のシステムのある太平洋諸島へと旅を続けながら、世界のとても大勢の方々に力を与えてもらっての授業づくりをさせてもらっています。

最近の調査により、日本国内でも「平和のために何かしたい」と考えている中高生の割合が増えていることが解ってきました。千里国際でも世界の平和を真剣に考えたり、将来平和貢献の仕事に就きたいと望んでいたりする生徒が少なからず居ます。2009年度は8名の生徒が「平和学入門」の授業に集まり、新たな世界秩序を描いた独自の案や日・朝の和解案を、校内のプレゼンテーション大会で発表することができました。生徒たちの意欲はとても高く、学会の公開シンポジウムやNGOの勉強会に自主的に参加してレポートを作成したり、改めて広島にも訪問したり。ついには予定になかった「平和学入門」の続編の授業(「平和学特講」)まで、要望に応じて急きょ用意することになりました。

野島 大輔 (のじま だいすけ)

関西学院 千里国際中等部・高等部
社会科教員

淡路島出身。国際基督教大学 (ICU) にて国際法学を専攻 (MA)。私学講師、東京都立の定時制高校の教諭を経て、千里国際には開校時から在勤している。中・高の社会科科目の他、比較文化、IB 知識の理論 (TOK) の日本語版科目、スタディ・スキルズ、など現代の国際教育に必須の科目を立案・担当している。趣味は作・編曲と世界の離島めぐり。



「世界リフォーム計画」の他にも、世界の実地の地域紛争の解決案を考える、など難題ばかりの授業でしたが、クラスでは常に笑いが絶えず、若い世代の思考の柔軟性や創造性、そして何かを見つけ出そうとするたくましさについては、毎回感心させられました。その一方、担当者としてはそれに応える授業準備が大変で、毎回うれしい悲鳴の状態でした。受講者の何名かは、実際に平和学や国際関係学の方面に進んでいます。「地球社会と個人」の元・生徒たちからも、その方面の職業を選んだ卒業生が何名も居ます。本年7月シドニーにて開催の国際平和学会の平和教育部会では、この授業の実践報告をさせていただく機会があり、内外の最先端の先生方から様々なご批評を頂くことができました。

世界の情勢は依然として楽観を許しませんが、若い人々がこうして世界の平和の実現に関心を持ち、共に学び合いながら何かを創り出していく、そのパワーには大いに期待が持てる実感しています。やがて平和学の修練を積んだ世界の若者たちが手を取り合い、武力紛争や飢餓・貧困・差別のない新しい世界を本当に創り上げる日を心待ちにしながら、箕面の小さな教室でこんな学習を続けています。

関西学院 千里国際中等部・高等部

〒652-0032 大阪府茨貫面市小野原西 4-4-16

TEL: 072-727-5070 FAX: 072-727-5055

HP: www.senri.ed.jp E-mail: admissions@senri.ed.jp



ここで紹介された「平和学入門」を含む一連の社会科クラスは、帰国生が海外生活の中で身につけてきた社会や世界に対する見方・考え方・感じ方を、帰国後さらに伸ばすカリキュラムです。

帰国生が海外で得た「宝」を利用するだけの受け入れ校が多い中、それをさらに伸ばす「教育」を実践してきたのは、千里の大きな特徴です。